滝川高校ＳＳＨ通信

発行：2020 年 7 月 6 日　　SSH・理数科　特別号

ラムサール登録湿地の
高層湿原(北海道の尾瀬)

雨竜沼湿原観察会　７／５（日）

滝川高校の卒業生で現在雨竜町役場に勤務している黒島諒貴さん（元科学部ＯＢ）と、山岳部顧問である藤田秀樹先生案内の元、ラムサール登録湿地の雨竜沼湿原の観察に行ってきました。参加者は、科学部員と有志を含め５名でした。

この湿原は、暑寒別天売焼尻国定公園内にあり、標高 850m の玄武岩質溶岩台地に東西 4km、南北 2km に渡り広がっている日本有数の山岳型高層湿原帯です（北海道の尾瀬とも呼ばれている)。大小 100 以上の池塘(ちとう)と呼ばれる沼が点在し、数多くの高山植物が咲きます。参加した生徒たちは、登山道（約 3.5km)、湿原の木道（約 4km）を散策し、それぞれが高山帯特有の野草や野鳥・昆虫などを観察してきました。翌週には、観察報告会を実施し、自分たちが知った地元の貴重な自然について、級友たちに紹介しました。



高層湿原特有の池塘（ちとう）が、大小含め 100 以上点在。



この時期、湿原内には、「エゾカンゾウ」や「ワタスゲ」が咲いていた。



入山前に、管理棟（雨竜沼湿原ゲートパーク）の前で集合写真



登山道の途中にある「白竜の滝」



登山の途中で観察された「柱状節理」を双眼鏡で観察する参加者たち

報告会で使用したパワーポイントファイルはこちらから見ることができます。



まとめはこちらから
ｐｐｔではこちらから



ラムサール条約の登録湿地は、
道内には１３か所あります。

観察できた野草



エゾカンゾウ



ヒオウギアヤメ



ワタスゲ



ハクサンチドリ





オオバタチツボスミレ

ＳＳＨの主な活動は随時滝川高校ホームページに掲載いたします。